

イチゴ栽培（培地加温）1,000㎡：アビルヒーター有無の経済効果試算

① <収穫量を増やす事に成功！>

ヒーター有無によるシーズン1株あたりの収量

あり	なし	差
0.49kg	0.31kg	58%

平均卸し単価 1,585円×0.18kg = 285円
 285円×5,000株 = **1,425,000円増!**

② <収穫時期を早める事に成功！>

市場価値の高い12月～1月に多く収穫できた。

12月

0.02kg増し / 株×卸し単価2,400円 = 48円増 / 株
 48円×5,000株 = **240,000円増!**

1月

0.11kg増し / 株×卸し単価1,500円 = 165円増 / 株
 165円×5,000株 = **825,000円増!**

<ボイラー燃料費の大幅改善>

設定温度：10℃→5℃ 燃料費も1/2に換算と仮定

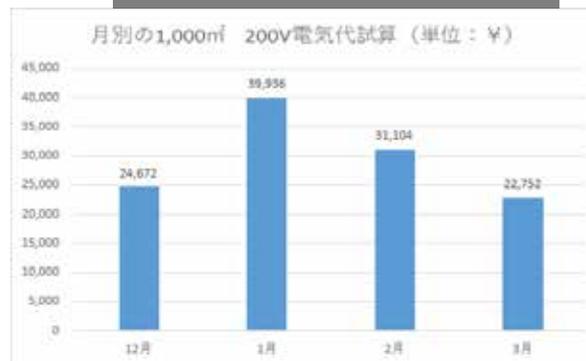
弊社長久手試験ハウスでの実績（11月～3月）

108㎡ハウス・・・193,250円

1,080㎡ハウス・・・1,932,500円

1,932,500円×1/2 = **966,250円!**

電気代単価@15にて試算
 （電気基本料金除く）



<ランニングコスト（電気代）>

ヒーター線設定温度：30℃

弊社長久手試験ハウスでの実績（12月～3月）

200V仕様 1,000㎡ = アビルヒーター線64本使用試算で**121,344円!**

<結果まとめ>

アビルヒーター導入後のシーズン試算		
	収量の増収分	142.5万円
	ランニングコスト （電気代）	12.1万円
-	プラス収益	130.4万円